

## 【瀬崎正人 虹彩法オイルクレヨン画展・作品のテーマと意図】

1995年よりオイルクレヨンによるスケッチを行っております。

スケッチを初めて、それまで室内で描いていた時には知らなかった自然の色彩に触れ、自然の色彩には太陽の光と地球の影が織りなす奥深い係わり合いがあることに気がきました。

以来、自然の色彩の持つその奥深さを表現する技法として「虹彩法」を考案し行っております。(スケッチ会や実演講習会などでお伝え致しております。)

この、自然の色彩とは太陽によりもたらされる光により表現されており、自然の風景をスケッチすることとはつまり太陽の光の織りなす色彩を写すこととも言えると思います。

しかし、この自然の色彩は全ての人に同じようには見えては居らず、見る人の感性にゆだねられて見えているとしか言えないように思われます。

それは同じ風景を見て、同じ色の画材を使い、同じ行程を辿って描く絵が、皆違う色合いとなって表現されて行くことから覗うことができます。

つまり「自然の風景は見る人の内面に依存して現れている」と思われます。

この事は同時に、見る人の意識により変化もし、見る人の見方がより深くなれば同時に自然の姿もより深みを増した姿として、現されて行く「絵」からも明らかです。

スケッチを通してこのような内的に変化して行く自分自身を体験することは、苦しみを伴うこともありますが、同時に何物にも代えがたい喜びも戴きます。

科学の説明するスペクトル化された色彩からは心に響くような内容は抽出することができませんが実は、自然の色には、感受する人自身が投影されるのであり、その色合いには、無限の深さと広さが内包されている事が、明らかであります。

色彩の内容とは、まだこれから解き明かされて行かなければならないものであり、自ら描く色彩を通して人は、その人間性を探究して行くことができると信じております。

今後の展覧会では「画集画」と云う部屋飾りの画集も展示させていただきます。

「画集画」により、これまでに描いてきた絵の全体をご覧頂く事ができます。

オイルクレヨン画と和紙の持つ味わいをご覧頂きたく皆様のお越しをお待ち申し上げます。

瀬崎正人 拝